

## 古今正月

数日前の新聞で、「大手百貨店が初売りを控えめにする」と報じられました。物価高、人手不足も相まって、三十年くらい前までの「風物詩」も、時代とともに変わってゆくのだろうと、改めて思いました。

そして、滝廉太郎作曲の「お正月」の頃はどんな過ごし方だったのだろうと気になり、調べてみました。

**正月の意味** 昔の人にとって正月は、一年の実りと命を司る「年神様」を各家庭に迎える神聖な行事でした。門松は神様が迷わないための目印、鏡餅はお供え物としての役割がありました。



(昭和初頭)

このように一月は、単なるカレンダーの区切り以上の精神的な意味を持つていました。

こうして昔を振り返ってみると、忙しさの中にも楽しさが存分に詰め込まれている印象があります。

## 染香

ぜんこう

福泉寺寺報  
令和8年1月  
第139号

毎月1日発行



おて LINE

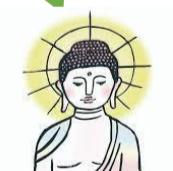


LINE



Facebook

## 真宗用語の基礎知識



【門徒】

似た言葉に「檀家」がありますが、比べて考えるとわかりやすいです。

「檀家」：家単位でお寺を経済的に支える側面が強い。

「門徒」：真宗の信仰を主体とし、教えを中心に生きるという側面が強い。

ちなみに、門徒さん同士を「お同行(おどうぎょう)」と呼ぶこともあります。

真宗の信仰を主体にするので、世間の常識(暦、方角、命名の画数などの良し悪し)にとらわれないので『門徒もの知らず』と皮肉を言われたのです。

(”世事に迎合しない真宗”：そのような背景もあって、薩摩藩によって長らく激しい弾圧を受けた真宗ですが、今年『薩摩開教150年』なのだそうです)

## 今年の行事です

春★3/20(金) 14時

春のお彼岸・永代経法要

講師・川田信五先生

(東かがわ市・大信寺)

夏★6/4(木) 5(金)

第56回鴨川組念仏奉仕団

西本願寺へ1泊2日

(新潟市・萬葉寺)

★8/16(日) 10時

盂蘭盆会(お盆法要)

「医療×仏教トーク(仮)

ゲスト・野島洋樹先生

(野島ホームクリーツ院長)

秋★9/20(日) 14時

秋のお彼岸・永代経法要

講師・三木秀海師

(倉敷市・清楽寺)

講師・丸山文雄先生

(新潟市・萬葉寺)

冬★12/6(日) 10時と14時

報恩講

講師・丸山文雄先生

(新潟市・萬葉寺)

おてらより

**遊びと交流** 一月の「睦月」の語源が「親族が睦み合う（仲良くする）月」であるように、親戚や近隣の人々が集まり、廐揚げ、羽根突き、百人一首などの伝統的な遊びを楽しみました。

**小正月** 一月十五日を中心に、豊作を祈願する行事が行われました。餅花を飾ったり、小豆粥を食べて無病息災を祈つたりするのが一般的でした。

**数え年** かつての日本では「数え年」を用いていたため、誕生日に問わらず、元日に国民全員が揃つて一歳年をとりました。そのため、元日は今よりもずっと盛大な「共通の誕生日」のようなお祝いの日でした。

**正月の意味** 昔の人にとって正月は、一年の実りと命を司る「年神様」を各家庭に迎える神聖な行事でした。門松は神様が迷わないための目印、鏡餅はお供え物としての役割がありました。

令和のこんにち、選択の自由と、効率化によって獲得した時間を、私たちは本当に有意義に使っているのか、いかがでしょう。

正月はとっても大きな節目です。そしてこの節目に、身も心も清めたいものです。先人の知恵と歩みをあらためて訪ねながら、相変わらず生きづらいうこの世界を、共に生きてまいりましょう。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

**遊びと交流** 一月の「睦月」の語源が「親族が睦み合う（仲良くする）月」であるように、親戚や近隣の人々が集まり、廐揚げ、羽根突き、百人一首などの伝統的な遊びを楽しみました。

**小正月** 一月十五日を中心に、豊作を祈願する行事が行われました。餅花を飾ったり、小豆粥を食べて無病息災を祈つたりするのが一般的でした。

**数え年** かつての日本では「数え年」を用いていたため、誕生日に問わらず、元日に国民全員が揃つて一歳年をとりました。そのため、元日は今よりもずっと盛大な「共通の誕生日」のようなお祝いの日でした。

**正月の意味** 昔の人にとって正月は、一年の実りと命を司る「年神様」を各家庭に迎える神聖な行事でした。門松は神様が迷わないための目印、鏡餅はお供え物としての役割がありました。

令和のこんにち、選択の自由と、効率化によって獲得した時間を、私たちは本当に有意義に使っているのか、いかがでしょう。

正月はとっても大きな節目です。そしてこの節目に、身も心も清めたいものです。先人の知恵と歩みをあらためて訪ねながら、相変わらず生きづらいうこの世界を、共に生きてまいりましょう。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

**遊びと交流** 一月の「睦月」の語源が「親族が睦み合う（仲良くする）月」であるように、親戚や近隣の人々が集まり、廐揚げ、羽根突き、百人一首などの伝統的な遊びを楽しみました。

**小正月** 一月十五日を中心に、豊作を祈願する行事が行われました。餅花を飾ったり、小豆粥を食べて無病息災を祈つたりするのが一般的でした。

**数え年** かつての日本では「数え年」を用いていたため、誕生日に問わらず、元日に国民全員が揃つて一歳年をとりました。そのため、元日は今よりもずっと盛大な「共通の誕生日」のようなお祝いの日でした。

**正月の意味** 昔の人にとって正月は、一年の実りと命を司る「年神様」を各家庭に迎える神聖な行事でした。門松は神様が迷わないための目印、鏡餅はお供え物としての役割がありました。

令和のこんにち、選択の自由と、効率化によって獲得した時間を、私たちは本当に有意義に使っているのか、いかがでしょう。

正月はとっても大きな節目です。そしてこの節目に、身も心も清めたいものです。先人の知恵と歩みをあらためて訪ねながら、相変わらず生きづらいうこの世界を、共に生きてまいりましょう。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

**遊びと交流** 一月の「睦月」の語源が「親族が睦み合う（仲良くする）月」であるように、親戚や近隣の人々が集まり、廐揚げ、羽根突き、百人一首などの伝統的な遊びを楽しみました。

**小正月** 一月十五日を中心に、豊作を祈願する行事が行われました。餅花を飾ったり、小豆粥を食べて無病息災を祈つたりするのが一般的でした。

**数え年** かつての日本では「数え年」を用いていたため、誕生日に問わらず、元日に国民全員が揃つて一歳年をとりました。そのため、元日は今よりもずっと盛大な「共通の誕生日」のようなお祝いの日でした。

**正月の意味** 昔の人にとって正月は、一年の実りと命を司る「年神様」を各家庭に迎える神聖な行事でした。門松は神様が迷わないための目印、鏡餅はお供え物としての役割がありました。

令和のこんにち、選択の自由と、効率化によって獲得した時間を、私たちは本当に有意義に使っているのか、いかがでしょう。

正月はとっても大きな節目です。そしてこの節目に、身も心も清めたいものです。先人の知恵と歩みをあらためて訪ねながら、相変わらず生きづらいうこの世界を、共に生きてまいりましょう。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

**遊びと交流** 一月の「睦月」の語源が「親族が睦み合う（仲良くする）月」であるように、親戚や近隣の人々が集まり、廐揚げ、羽根突き、百人一首などの伝統的な遊びを楽しみました。

**小正月** 一月十五日を中心に、豊作を祈願する行事が行われました。餅花を飾ったり、小豆粥を食べて無病息災を祈つたりするのが一般的でした。

**数え年** かつての日本では「数え年」を用いていたため、誕生日に問わらず、元日に国民全員が揃つて一歳年をとりました。そのため、元日は今よりもずっと盛大な「共通の誕生日」のようなお祝いの日でした。

**正月の意味** 昔の人にとって正月は、一年の実りと命を司る「年神様」を各家庭に迎える神聖な行事でした。門松は神様が迷わないための目印、鏡餅はお供え物としての役割がありました。

令和のこんにち、選択の自由と、効率化によって獲得した時間を、私たちは本当に有意義に使っているのか、いかがでしょう。

正月はとっても大きな節目です。そしてこの節目に、身も心も清めたいものです。先人の知恵と歩みをあらためて訪ねながら、相変わらず生きづらいうこの世界を、共に生きてまいりましょう。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

**遊びと交流** 一月の「睦月」の語源が「親族が睦み合う（仲良くする）月」であるように、親戚や近隣の人々が集まり、廐揚げ、羽根突き、百人一首などの伝統的な遊びを楽しみました。

**小正月** 一月十五日を中心に、豊作を祈願する行事が行われました。餅花を飾ったり、小豆粥を食べて無病息災を祈つたりのが一般的でした。

**数え年** かつての日本では「数え年」を用いていたため、誕生日に問わらず、元日に国民全員が揃つて一歳年をとりました。そのため、元日は今よりもずっと盛大な「共通の誕生日」のようなお祝いの日でした。

**正月の意味** 昔の人にとって正月は、一年の実りと命を司る「年神様」を各家庭に迎える神聖な行事でした。門松は神様が迷わないための目印、鏡餅はお供え物としての役割がありました。

令和のこんにち、選択の自由と、効率化によって獲得した時間を、私たちは本当に有意義に使っているのか、いかがでしょう。

正月はとっても大きな節目です。そしてこの節目に、身も心も清めたいものです。先人の知恵と歩みをあらためて訪ねながら、相変わらず生きづらいうこの世界を、共に生きてまいりましょう。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

**遊びと交流** 一月の「睦月」の語源が「親族が睦み合う（仲良くする）月」であるように、親戚や近隣の人々が集まり、廐揚げ、羽根突き、百人一首などの伝統的な遊びを楽しみました。

**小正月** 一月十五日を中心に、豊作を祈願する行事が行われました。餅花を飾ったり、小豆粥を食べて無病息災を祈つたりのが一般的でした。

**数え年** かつての日本では「数え年」を用いていたため、誕生日に問わらず、元日に国民全員が揃つて一歳年をとりました。そのため、元日は今よりもずっと盛大な「共通の誕生日」のようなお祝いの日でした。

**正月の意味** 昔の人にとって正月は、一年の実りと命を司る「年神様」を各家庭に迎える神聖な行事でした。門松は神様が迷わないための目印、鏡餅はお供え物としての役割がありました。

令和のこんにち、選択の自由と、効率化によって獲得した時間を、私たちは本当に有意義に使っているのか、いかがでしょう。

正月はとっても大きな節目です。そしてこの節目に、身も心も清めたいものです。先人の知恵と歩みをあらためて訪ねながら、相変わらず生きづらいうこの世界を、共に生きてまいりましょう。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

**遊びと交流** 一月の「睦月」の語源が「親族が睦み合う（仲良くする）月」であるように、親戚や近隣の人々が集まり、廐揚げ、羽根突き、百人一首などの伝統的な遊びを楽しみました。

**小正月** 一月十五日を中心に、豊作を祈願する行事が行われました。餅花を飾ったり、小豆粥を食べて無病息災を祈つたりのが一般的でした。

**数え年** かつての日本では「数え年」を用いていたため、誕生日に問わらず、元日に国民全員が揃つて一歳年をとりました。そのため、元日は今よりもずっと盛大な「共通の誕生日」のようなお祝いの日でした。

**正月の意味** 昔の人にとって正月は、一年の実りと命を司る「年神様」を各家庭に迎える神聖な行事でした。門松は神様が迷わないための目印、鏡餅はお供え物としての役割がありました。

令和のこんにち、選択の自由と、効率化によって獲得した時間を、私たちは本当に有意義に使っているのか、いかがでしょう。

正月はとっても大きな節目です。そしてこの節目に、身も心も清めたいものです。先人の知恵と歩みをあらためて訪ねながら、相変わらず生きづらいうこの世界を、共に生きてまいりましょう。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

**遊びと交流** 一月の「睦月」の語源が「親族が睦み合う（仲良くする）月」であるように、親戚や近隣の人々が集まり、廐揚げ、羽根突き、百人一首などの伝統的な遊びを楽しみました。

**小正月** 一月十五日を中心に、豊作を祈願する行事が行われました。餅花を飾ったり、小豆粥を食べて無病息災を祈つたりのが一般的でした。

**数え年** かつての日本では「数え年」を用いていたため、誕生日に問わらず、元日に国民全員が揃つて一歳年をとりました。そのため、元日は今よりもずっと盛大な「共通の誕生日」のようなお祝いの日でした。

**正月の意味** 昔の人にとって正月は、一年の実りと命を司る「年神様」を各家庭に迎える神聖な行事でした。門松は神様が迷わないための目印、鏡餅はお供え物としての役割がありました。

令和のこんにち、選択の自由と、効率化によって獲得した時間を、私たちは本当に有意義に使っているのか、いかがでしょう。

正月はとっても大きな節目です。そしてこの節目に、身も心も清めたいものです。先人の知恵と歩みをあらためて訪ねながら、相変わらず生きづらいうこの世界を、共に生きてまいりましょう。

本年も、どう

